

概要版

森・里・街がきらめく ふるさと 南丹市

みんなの笑顔 元気を合わせ
誇りときずなで未来を創る

南丹市総合振興計画

後期基本計画 2013-2017

はじめに

「基本構想の実現に向けて」

～南丹市総合振興計画
後期基本計画を策定しました～



南丹市が誕生して早や7年あまりが経過いたしました。この間、平成20年3月に策定した、まちづくりの指針であります「南丹市総合振興計画」の基本構想に掲げる10年後の市の将来像「森・里・街がきらめくふるさと南丹市」の実現を目指し、各施策に取り組んでまいりました。

このたび、基本計画の折り返し時期を迎えたことから、これを見直し、平成25年度からのまちづくりの基本的な施策の方針をまとめた「後期基本計画」として策定いたしました。

近年、地方自治体を取り巻く環境が大きく変わってきております。国も地方も財政状況がかつてない程厳しい中、地方分権の進展により各自治体には自らの責任の下、創意・工夫・努力により地方独自の特色あるまちづくりが求められています。

また、人口減少や少子高齢化の更なる進行、長引く経済の低迷による雇用環境の悪化や税収の落ち込みなどにより行財政運営はたいへん難しい時代に突入しました。

このような状況ではありますが、南丹市では市民の皆様とともにまちづくりを進めるため、「市民参加と協働の推進に関する条例」や、定住促進につなぐべく子育てを支援するための「子育て支援条例」を整備するなど土台づくりを進めています。

さらに、JR山陰本線の複線化や、デマンドバスの運行開始により向上した交通の利便性、これまで大切に育んできた豊かな自然や歴史・文化などの貴重な地域資源の活用など、南丹市の特長を前面に出した魅力あるまちづくりを進めていきたいと考えております。

そのために、本計画を基本とし、将来像の実現に向け、市民の皆様と手を携えながら市政を推進してまいりますので、更なるご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、本計画策定にあたり、活発なご議論をいただきました審議会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆様、市議会議員の皆様、関係の皆様へ心から感謝申し上げます。

平成25年3月

南丹市長 佐々木 稔納

(1) 総合振興計画とは

南丹市総合振興計画は、市が実施するあらゆる分野における施策について、長期的な視点に立ってとりまとめたまちづくりの指針となる計画です。

(2) 計画の構成と期間

総合振興計画は、基本構想、基本計画及び実施計画により構成します。

〔基本構想〕当初の計画策定から10年後（平成29年度）の南丹市を展望し、まちの将来像とこれを達成するための基本方針を示すものです。

〔基本計画〕将来像を達成するための施策方針です。平成20年度から平成24年度までの5年間を前期基本計画、平成25年度から平成29年度までの5年間を後期基本計画の期間とします。

〔実施計画〕基本計画に定められた施策方針を財政的な裏づけを持って実施していくために具体的な事業として示すものです。3年間の計画をローリング方式により毎年度策定し、事務事業の達成目標を明確に定めることなどにより、実効性の高い計画とします。

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
基本構想	基本構想 (H20～29)									
基本計画	前期基本計画 (H20～24)					後期基本計画 (H25～29)				
実施計画					実施計画 (H24～26)	実施計画 (H25～27)	実施計画 (H26～28)	実施計画 (H27～29)		

(3) 後期基本計画策定の視点

①時代の流れや社会情勢の変化に対応した計画

前期計画の成果を踏まえた上で、少子高齢化や高度情報化、地域主権型社会の進展や厳しい社会経済状況、環境問題、防災など時代の潮流を的確に把握し、新たな対応策を積極的に盛り込んだ計画とします。

②市民目線に立った市民協働を進めるための計画

市民の声をできる限り取り入れ、市民満足度の向上を図るとともに、市民がすること、行政がすること、一緒にすることを明確にした協働のまちづくりを進めるための計画とします。

③市民にわかりやすい計画

計画の進捗状況や効果をわかりやすく示すため、指標数を前期計画から大幅に増やし、目標を数値化することにより、市民にわかりやすく親しみやすい計画とします。

④基本構想の定住人口フレームについて

現実に人口が減少してきている状況で、まちづくりを継続・発展させていくための人口規模としては、目標年次において32,000人程度にまで減少することが予想されるなかで、34,000人を目標とします。

⑤自助・共助・公助の連携

市民が自らの責任のもと行うこと（自助）、地域社会が協力し合い行うこと（共助）、そして行政が行うこと（公助）の役割分担を考えたまちづくりを進めていきます。

⑥施策の融合による効果的な推進

より効果的にまちづくりを進めるためには、それぞれの施策を個別に進めるだけでなく、互いに融合させ、うまく絡み合わせながら相乗効果を生み出すような視点も考慮し推進してまいります。

南丹市総合振興計画基本構想に定める将来像

●まちづくりのテーマと将来の南丹市のイメージ

〈まちづくりのテーマ〉 **みんなの笑顔 元気を合わせ 誇りときずなで未来を創る**
 〈将来の南丹市のイメージ〉 **森・里・街がきらめく ふるさと 南丹市**

●まちづくりの基本目標

- 生きがい定住都市構想** ～生涯充実して暮らせる都市を創る～
- やすらぎの郷構想** ～自然・文化・人を生かした郷を創る～
- きずなと交流のネットワーク構想** ～人・物・情報を高度につなげる～
- きらめきパートナーシップ構想** ～共に担うまちづくりの仕組みを築く～

第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る

1 安心して子育てできるまちをつくりま

- 地域全体で子育てを支援する仕組みづくり
- 子育て世帯への経済的支援の推進
- 多様な保育の推進
- 就学前教育の充実
- 放課後の子どもの育成の場づくり
- 多様な支援の一体的な推進



2 明日を担い、内外で活躍するひとを育てます

- 小学校の再編整備
- 学校教育の充実
- 学習施設と設備の整備
- 通学支援
- 保育所・幼稚園・小中学校の連携強化
- 学校(園)・家庭・地域社会がつながり合う家庭教育の向上



3 生涯にわたって学び、生かす機会をつくりま

- 生涯学習拠点施設の充実
- 生涯学習推進組織の育成強化
- スポーツ・レクリエーション施設の充実
- スポーツ・レクリエーション活動の振興
- 文化芸術の振興



4 誰もが健康で暮らせるまちをつくりま

- 市民の健康づくりへの支援
- 地域医療の充実
- 食育及び食の安全確保
- 火葬場の整備



5 高齢者や障がいのある人の自立を支援しま

- 高齢者が安心して暮らせる自立支援
- 障がいのある人が安心して暮らせる自立支援
- 高齢者・障がいのある人の社会参加の促進
- 安心と支え合いの仕組みづくり

6 働ける場もあり住みよいまちづくりを支援しま

- 京都新光悦村の波及効果の拡大
- 工業用地の整備と企業誘致の推進
- 起業支援の推進
- 就労と定住のための支援
- 住宅・住環境の充実



ともにめざす目標指標 (抜粋)				
成果指標	単位	現況	後期の目標	
子育て広場等利用者数	人	11,204	12,000	
安心して子育てのできるまちと思う市民の割合	%	47.5	55	
学校図書標準冊数達成率	%	88	100	
学校施設の耐震化率	%	72.3	100	
スポーツ・レクリエーション施設の利用者数	人	217,785	230,000	
図書館貸蔵書数	点	203,069	225,000	
がん検診受診率(肺がん)	%	30.5	37	
健康教室・介護予防教室などの参加者数	人	4,022	4,200	
介護保険・各種福祉サービス未利用者率	%	81.1	82.5	
地域福祉ボランティア活動に参加する人数	人	1,246	1,500	
起業または誘致した企業の数	件	35	40	
市内で働く従業者数	人	14,855	16,000	

※後期基本計画には、すべての項目(第1章26項目)を掲げています。

第2章 自然・文化・人を生かした郷を創る

1 豊かな緑と清流を守りま

- 森林と河川の保全
- 農地の保全
- 身近な緑や環境美化
- 環境保全の行動支援
- 森・里・街の景観保全



2 資源が循環するまちをつくりま

- 省資源・リサイクルと衛生管理
- 環境にやさしい暮らし
- エネルギーの有効活用
- 上水道の充実
- 下水道の充実



3 南丹ブランドの「ほんまもん」を確立し発信しま

- 南丹ブランド生産者等への支援
- 南丹ブランドの販路拡大
- 農業の振興
- 林業の振興
- 野生鳥獣被害等への対策



4 ひとを温かく迎えます

- 観光ネットワークの確立
- 観光施設及び周辺整備
- イベント運営の効率化
- 情報発信とPRの強化
- 温泉の活用
- 観光漁業の振興
- 交流事業の促進



5 伝統文化を継承しま

- 歴史文化遺産の調査と保全
- 歴史文化遺産の周知と活用



6 暮らしの安全と安心を守りま

- 治山・治水対策
- 防災体制の強化
- 防災情報システムと防災設備の整備
- 救急医療の充実
- 防犯対策の強化
- 消費者保護の推進
- 交通安全対策の推進



ともにめざす目標指標 (抜粋)				
成果指標	単位	現況	後期の目標	
森林ボランティア数	団体	7	8	
1人1日あたりのごみの排出量	g/人・日	570	500	
下水道区域水洗化率	%	82.1	84.2	
ブランド農林産物の販売額	千万円	98	129	
耕作放棄地面積	ha	29.28	26.13	
観光入込客数	千人	1,621	1,800	
観光消費額	百万円	2,138	2,700	
文化博物館と郷土資料館の年間入場者数	人	6,813	8,000	
防災行政無線普及率	%	47.2	100	
防火水槽の設置数	基	608	618	

※後期基本計画には、すべての項目(第2章28項目)を掲げています。

第3章 人・物・情報を高度につなげる

1 安全で快適なみちでつなぎます

- 広域アクセスの強化
- 広域ネットワークを見据えたまちづくり
- 広域幹線道路の整備
- 地域幹線道路の整備
- 安全で快適な道づくり



2 便利で安心な公共交通網を確立します

- J R山陰本線の複線化
- 鉄道を生かしたまちづくり
- バス交通の充実
- 多様な公共交通システムの整備



3 双方向の情報通信基盤をつくります

- 情報基盤の整備
- 情報提供の推進
- 情報環境の整備



4 にぎわいの市街地をつくります

- 都市計画の推進
- 商業の振興
- 地域の核となる市街地整備と定住促進
- 身近な公園緑地の整備



ともにめざす目標指標（抜粋）			
成果指標	単位	現況	後期の目標
縦貫道路進捗率	%	80	100
道路改良率	%	63.1	63.9
市内J R駅乗降客数	人/日	15,288	16,000
市バスの利用者数	人/年	240,247	250,000
CATV加入率	%	84.2	87
電子申請できる各種手続数	件	2	6
商工会会員数	人	774	795
区画整理事業の進捗率	%	95	100

※後期基本計画には、すべての項目（第3章15項目）を掲げています。

第4章 共に担うまちづくりの仕組みを築く

1 共に生きるまちづくりを進めます

- 人権啓発の推進
- 男女共同参画社会の推進
- 虐待事象の防止



2 住民自治の地域づくりを進めます

- 地域との協働の推進
- 地域づくりの支援



3 多様な担い手のパートナーシップを育てます

- 協働と市民参画の仕組みづくり
- 市民協働の推進
- より多くの市民参画



4 大学等と連携し、ともにまちをつくります

- 連携のための仕組みづくり
- ともに育む「教育のまち南丹市」
- 学生にとって住みやすいまちづくり



5 未来を担う人づくりを進めます

- 学校教育及び社会教育における人材育成
- 産業を担う人材育成のための支援
- 地域とまちを担う人材育成のための支援

6 行財政改革を推進します

- 情報公開と電子自治体の構築
- 効率的な行財政運営
- 行政サービスと職員の資質の向上
- 施設配置の見直しと庁舎の整備

ともにめざす目標指標（抜粋）			
成果指標	単位	現況	後期の目標
審議会・委員会の女性登用率	%	20	30
人権教育講座参加者の理解度	%	80	85
地域活動や市民自主活動に参加した市民の割合	%	57.9	80
地域自治組織の構築	-	未実施	実施
達人バンク登録数	人	18	50
広報広聴会参加者数	人	450	700
連携支援組織の設置	-	未設置	設置
大学との連携が盛んだと思う市民の割合	%	20.3	30
生産年齢層（15～64歳）人口	人	19,846	18,600
住みやすいと思う市民の割合	%	62.1	65
市民の税金がまちづくりに効果的に活用されていると思う人の割合	%	14.1	40

※後期基本計画には、すべての項目（第4章23項目）を掲げています。



森・里・街がきらめく ふるさと 南丹市

～みんなの笑顔 元気を合わせ 誇りときずなで未来を創る～

南丹市総合振興計画 後期基本計画 **概要版**

発行年月／平成25年3月

編集／南丹市企画政策部企画調整課

〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47番地 TEL(0771)68-0065